

## 施策評価調書 目標年度(27年度)実績

施策コード I-8-(2)

政策体系	施策名	小規模集落の維持・活性化	所管部局名	企画振興部	長期総合計画(プラン2005)頁	69
	政策名	地域の底力の向上 ~助け合い、支え合いによる豊かな地域生活の実現~	関係部局名	企画振興部、生活環境部、土木建築部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	生活環境の整備	安全・安心の確保	小規模集落の活性化

### 【Ⅱ. 目標指標】

指	標	関連する 取組No.	基準値		目標年度(27年度)			目標達成度(%)						
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	25	50	75	100	125		
i	安全な生活用水の確保が困難な集落数(集落)	①	H23	123	107	104	102.8%							
ii	小規模集落から幹線道路へのアクセスを改善した集落数(集落)	①	H22	20	88	88	100.0%							
iii	小規模集落応援隊の活動回数(回/年)	②	H21	35	106	126	118.9%							
iv	集落支援員・地域おこし協力隊設置市町村数(市町村)	③	H21	4	17	15	88.2%							
v	小規模集落・里のくらし支援事業取り組み地区数(地区)	②③	H20	15	97	130	134.0%							

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i	達成 地域の現状にあった給水施設の整備等、これまでの実績により、安全な生活用水の確保が困難な集落が減少し、目標値を達成した。	達成
ii	達成 一般県道佐賀関循環線(小黒2工区)などの整備により、新たに6集落のアクセスが改善されたため、目標値を達成した。	
iii	達成 活動内容の広報等により各市町村での応援隊活動が広まり、件数が増えている。	
iv	達成 不十分 未設置の市町村において、設置に向けての担当業務や設置地域の検討、受け入れ地域の調整、財政措置、設置要綱の策定などに時間を要し、H27年度中の設置には至らなかったため、目標値を達成できなかった。	
v	達成 各振興局と各市町村の連携により、地域ニーズへの対応が円滑に進んだため、目標値を達成した。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	(指標により評価)
②	・買い物代行サービスや耕作放棄地の耕作受託及び農園化の検討などの集落のネットワーク構築支援委託事業をモデル的な13地区で実施し、各集落のネットワーク化に向けた動きが加速した。
③	・地域活力づくり総合補助金等も活用し、小規模集落の活性化を支援した結果、集落の維持活性化に繋がった。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価
			総合評価
②	小規模集落・里のくらし支援事業	85,312	A
	くらしの和づくり応援事業	57,150	A
③	地域活力づくり総合補助金	573,434	A

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第1回大分県新長期総合計画策定県民会議 (H27.5)          ・都会で定年退職を迎えた人やこれから迎える人たちを故郷に帰す仕組みをつくるのが大事。</p>	
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	成果と今後の施策展開
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模集落対策については、H20年度、全国に先駆け、県と市町村が連携して大分県小規模集落対策本部を設置して、課題解決に向けた取組を実施し、小規模集落の維持・活性化を図ってきた。</li> <li>・今後も、小規模集落対策推進指針を踏まえ、「地域の活力づくり」「生活環境の整備」「地域コミュニティの維持」「鳥獣被害・耕作放棄地対策」「集落間の連携・再編等」を柱に、小規模集落対策を推進する。</li> <li>・具体的には、集落の特徴的機能の強化と広域連携によるネットワーク・コミュニティの形成や買い物の拠点づくりや廃校等を活用した地域の賑わいの場づくりを促進する。</li> <li>・また、地域おこし協力隊の地域課題解決能力向上や人的ネットワークづくりを進める大分地域おこし協力隊連絡会議を開催し、協力隊員のレベルアップと定着促進を図るとともに、任期終了後の定住に向けて、地域資源を活用した起業を支援する取り組みを行う。</li> </ul>